

履修モデル（文学研究科フランス文学専攻）

(1) 博士前期課程

専門性（文学、語学）に偏らずに言語と文化についての幅広い知識と思考力を鍛えるために、多様な専修講義科目を履修することが望ましい。まんべんなく履修することで総合的な言語理解力（読む、聴く）と表現力（書く、話す）養成を目指すモデルになっています。以下、全科目の特徴を示します。なお、「フランス語学特殊研究V～X」については基本的にすべてフランス語で授業が行われています。

[1年目]

フランス文学特殊研究Ⅰ、Ⅱ（武末）

19世紀を中心としたフランス文学作品を取り上げ、翻訳・読解・テーマ展開を交差させながら取り組む。フランス語の逐語訳から文章の理解と解釈を試み、テーマの多様な展開の可能性までを同時に行うことによって翻訳力、考察力、展開力を培う。修士論文の執筆に意欲的に取り組めるように土台を固める授業となることをめざしている。

フランス文学特殊研究Ⅲ、Ⅳ（真下）

太陽王ルイ14世の絶対王政の下、フランスが自らの芸術・文化の基礎を築き上げた17世紀に、文学が政治や社会と積極的に関わり合い、時代の思考の枠組みである「エピステーメ」の変化に大きな影響を与えていく過程を、前半のバロック、中期～後半の古典主義時代と、相反する感性がそれぞれに花開かせた様々なジャンルのテキストを読解、比較検討しながら考察する。

フランス文学特殊研究Ⅴ、Ⅵ（和田）

この授業では、フランス近代文学にかんする評論・論文を主に取り上げ、小説などとはことなる、評論特有のフランス語表現の読解困難な点に文法・語学的解説を加え、フランス的な論理の展開法について、テキストを精読しながら学ぶ。また、その作業を通して、文学作品について語るディスカールそのものについて親しむ。

フランス思想特殊研究Ⅰ、Ⅱ（北垣）

失業や雇用の不安定、社会的排除といった現代の先進国において共通に見られる現象に関して、歴史的・社会学的にアプローチした論考を読み進めつつ、人々を結びつけ社会を構成する力学について考察する。そうした考察を通じて、現代の社会問題にかんして、異なる時代や社会を通じて共通する人間的基盤を踏まえた上で、理解しようとする態度を身につける。

フランス語学特殊研究Ⅲ、Ⅳ（小熊）

フランス語文法（構文論、意味論、語用論、語彙論）について、どのような問題がありどのような方法でアプローチできるかを、主にフランスで刊行されているテキストを利用して読解する。研究の導入として基本的には構造主義的・発話論的枠組みを用い日仏語対照の観点も導入するが、毎年異なる分野を扱う（限定詞、動詞[時・相・法]、形容詞、名詞、間投詞、レトリックなど）。

フランス語学特殊研究Ⅴ、Ⅵ（Trubert）

La recherche en langue française proposée ici aux étudiants porte principalement sur les nombreux niveaux d'oralité et leur comparaisons avec les langues écrites, poétique et littéraire. Cette recherche mobilise les connaissances acquises des étudiants afin de leur apporter une conscience plus vive des niveaux de langue. A cet effet les cours proposent également une initiation au traitement automatique des langues en tant qu'outil aidant à l'analyse linguistique.

フランス語学特殊研究VII、VIII (Azra)

L'objectif de mes cours est donner plusieurs compétences, notamment écrites : capacité de lire un texte scientifique, journalistique ou littéraire; capacité de composer des documents qui puissent réellement être utilisés dans le monde francophone : lettres, récits, dissertations, présentations, articles, mémoires, etc. On s'intéressera non seulement aux aspects pragmatiques ou syntaxiques de la langue, mais aussi aux rapports entre langue et société.

フランス語学特殊研究IX、X (Chevalier)

Les étudiants de Daigakuin ayant de fortes chances d'être amenés à enseigner le français dans leur vie professionnelle, ce cours vise à leur donner les notions nécessaires pour saisir les enjeux didactiques de l'enseignement/apprentissage d'une langue étrangère. Selon les années, l'accent sera mis soit sur les opérations d'apprentissage et d'enseignement d'une LE, soit sur sa dimension interculturelle.

[2年目] 修士論文作成に必要な指導教授の「演習」、および関連するその他の「特殊研究」や「演習」。

(2) 博士後期課程

博士後期課程では、専門分野のなかで研究テーマを深く掘り下げて学位論文として大成することを目指しますので、履修科目としては指導教授による「フランス文学研究指導」または「フランス語学研究指導」のみになります。